

新田地域の湧水地タイプ

一般的な湧水のタイプ分け

扇状地に一般的にみられる湧水のタイプを湧出する場所や地下水の成因を考慮して分類しています。このうち、扇端型や段丘崖型の湧水は、一般に帯水層が礫層で地下水の涵養域も広いいため、湧出量が多く、湧出も比較的安定しているのが特徴です。一方、窪地型や宙水型は帯水層がローム主体であり、涵養域も狭いため、湧出量が少なく、湧出も不安定なのが特徴です。

新田地域の湧水のタイプ分け

新田湧水群は、扇端湧水帯の形成による典型的な湧水群であり、標高55～60m付近に湧水地が集中して分布しています。

①扇状地を刻む谷の谷頭付近に湧出するタイプ

谷頭部に湧出するタイプには、扇端部の谷頭付近に湧出する最も典型的な自然湧水である自然湧水池型（矢太神沼など）や谷頭の湧水を人工的に堰き止めた溜池等の溜池型（妙参寺沼など）がみられ、一般に涵養域が広いいため、湧出量が多く、湧出も比較的安定しているのに特徴があります。

②段丘面上にみられるタイプ

段丘面上にみられるタイプには、農業用水確保を目的に台地上に人工的に掘られた溜井型（重殿など）、中世において館の防備や生活用水・農業用水確保のために掘られた環濠型（反町館跡など）、段丘面上の窪地や宙水起源の自然湧水型（天沼ほか）があり、谷頭部に湧出するタイプと比べると、湧出量が少なく、湧出も不安定なのが特徴です。

新田湧水群の湧水のタイプ分け

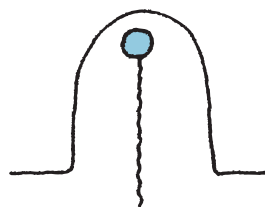
湧水タイプ		特徴	代表的な例
谷 頭 部	自然湧水池型	扇端部の谷頭付近に湧出する。最も典型的な自然湧水	矢太神沼ほか
	溜池型	谷頭の湧水を人工的に堰き止めた溜池あるいは谷頭の自然湧水池から水路を敷設して貯水池に導いたもの	妙参寺沼ほか
段丘面上	溜井型	水田耕作拡大のために用水確保を目的に台地上で人工的に掘られた溜井	重殿、風吹沼 団蔵坊ほか
	環濠型	中世において館の防備、生活用水や農業用水確保のために人工的に掘られた環濠	城（やかた） （反町館跡）ほか
	自然湧水型	段丘面上の窪地や宙水起源の自然湧水	天沼ほか

新田湧水群の湧水タイプ区分例



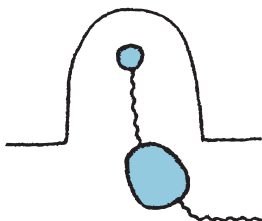
自然湧水池型の例（矢太神沼）

扇端部の谷頭付近に自然に湧出する。



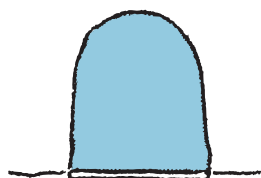
溜池型の例（妙参寺沼）

谷頭の湧水を堰き止めたり水路で貯水池に導く。



溜井型の例（重殿）

用水確保のため段丘面上で人工的に掘られた溜井。

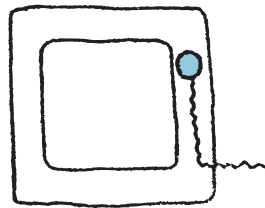


※図は湧水のパターン分類図です。



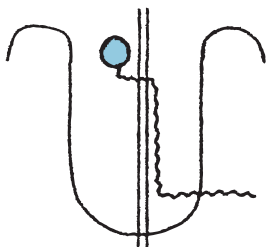
環濠型の例（城：反町館跡）

館や集落の周辺に掘られた環濠。



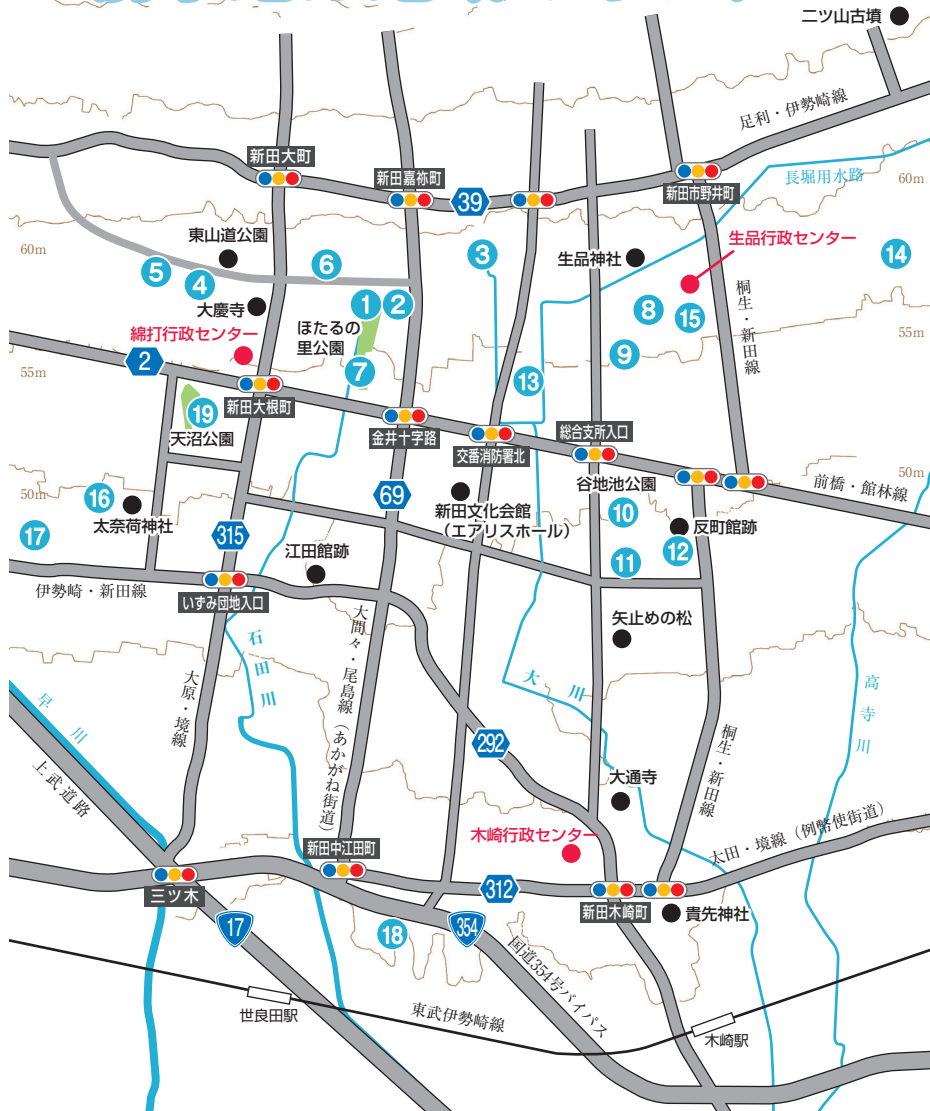
自然湧水型の例（天沼新田）

段丘面上の窪地に洪水時にたまに湧出する。



※図は湧水のパターン分類図です。

湧水地は地域のオアシス



発行日／平成20年 3月

発行者／太田市 環境部 環境政策課

住所：〒373-8718 太田市浜町2番35号

電話：0276-47-1111(代)